

平成24年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」実績報告書

1. 事業名称

環境・エネルギー分野の中核的専門人材養成の課題・対応策の検証と新たな学習システムの構築推進プロジェクト

2. 事業実施期間

委託を受けた日(平成24年7月31日)～平成25年3月15日

3. 産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトの別

職域プロジェクト

産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトの名称

電気・電子・設備分野職域プロジェクト

関係するコンソーシアムの名称(職域プロジェクトのみ記入)

環境・エネルギー分野産学コンソーシアム

4. 分野名

①環境・エネルギー

「その他」分野名

5. 代表機関

■ 代表法人

法人名	学校法人 有坂中央学園
理事長名	中島 利郎
学校名	中央工科デザイン専門学校
所在地	〒 371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-1

■ 事業責任者

省略

■ 事務担当者(文部科学省との連絡担当者)

省略

6. 産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトの構成員・構成機関等

(1) 構成機関

	構成機関(学校・団体・機関等)の名称	役割等	都道府県名
1	学校法人 有坂中央学園 中央工科デザイン専門学校	プログラム・カリキュラム開発、実証実験	群馬
2	学校法人 小山学園 専門学校東京テクニカルカレッジ	プログラム・カリキュラム開発、実証実験	東京
3	FSGカレッジリーグ 専門学校 国際情報工科大学校	プログラム・カリキュラム開発、実証実験	福島
4	国立大学法人 群馬大学 工学部	電気、工学分野	群馬
5	公立大学法人 前橋工科大学	プログラム・カリキュラム開発、実証実験	群馬
6	株式会社関電工 群馬支店	電力設備工事、エネルギー関連	群馬
7	株式会社ヤマト	省エネルギー対策、太陽光発電	群馬
8	富士情報通信株式会社	情報通信インフラ・モバイル	群馬
9	日本パソコム株式会社	通信設備・ネットワーク設備	群馬
10	前橋商工会議所	普及、啓発活動支援、社会人実証実験	群馬
11	学校法人 有坂中央学園 経営企画本部	事務局	群馬

(2) 協力者等

氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
関口 慶也	群馬県電気工事工業組合 理事長	普及、啓発活動支援、社会人実証実験	群馬
関口 正男	前橋工科大学 工学部 准教授	教材開発、実習	群馬
小川 淳一	(株)ヤマニエコライフ アースソーラーカレッジ	教材開発、実習	埼玉
猪越 和彦	太田市産業環境部 参事(環境支援担当)	地域振興、実証実験支援	群馬
中島 由美子	榛東村自然エネルギー推進対策室 室長	地域振興、実証実験支援	群馬
高橋 健	前橋商工会議所 専務理事	地域振興	群馬
西薊 大実	NPO法人地球温暖化防止ぐんま県民会議 理事長	普及、啓発活動支援	群馬
金子 利昭	株式会社ヤマダ電機 総務部長	普及、啓発活動支援	群馬
小暮 雅幸	富士情報通信株式会社 代表取締役	普及、啓発活動支援	群馬
神尾 裕志	ソフトバンクテレコム株式会社 マネジャー	普及、啓発活動支援	東京
金山 克己	日本レコードマネジメント株式会社 代表取締役	記録情報管理分野	東京
吉田 一衛	経済産業省 東北経済産業局 ネットワークアドバイザー	IT・経営分野	神奈川
川本 芳信	JAMOTE認証サービス株式会社 代表取締役	学習サービスの評価	東京

(3) 産学官連携コンソーシアムの下部組織（設置した場合に記載。職域プロジェクトの場合は記入不要）

名称(カリキュラム・教材開発分科会)			
氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
笠原 文男	中央工科デザイン専門学校 副校長	カリキュラム・教材開発	群馬
渡邊 隆行	中央工科デザイン専門学校 産学推進室次長	カリキュラム・教材開発	群馬
瀬下 哲男	中央工科デザイン専門学校 教務部2学年リーダー	カリキュラム・教材開発	群馬
高杉 勝治	中央工科デザイン専門学校 教務部	カリキュラム・教材開発	群馬
加藤 孝士	加藤電気管理事務所	カリキュラム・教材開発	群馬
横田 明	横田電気管理事務所	カリキュラム・教材開発	群馬
筑比地 房司	筑比地電気管理事務所	カリキュラム・教材開発	群馬
小川 淳一	(株)ヤマニエコライフ アースソーラーカレッジ	カリキュラム・教材開発	埼玉
星野 雅紀	中央レコードマネジメント株式会社 取締役部長	カリキュラム・教材開発	群馬
名称(実証実験分科会)			
氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
五十部 昌克	中央工科デザイン専門学校 教務部長	実証実験・評価	群馬
石川 茂弘	中央工科デザイン専門学校 社会人教育センター	実証実験・評価	群馬
森田 信之	日本パソコム株式会社 部長	実証実験・評価	群馬
小池 宏尚	学校法人有坂中央学園 経営法務室長	実証実験・評価	群馬
八木 信幸	学校法人有坂中央学園 主任研究員	実証実験・評価	群馬
名称()			
氏名	所属・職名	役割等	都道府県名

○普及方策

学生向けに構成機関の専門学校(中央工科デザイン専門学校の在學生)で実証実験を実施し、社会人向けには求人広告による募集実施とともに職域プロジェクトの構成機関でもある商工会議所や電気工事工業組合にて募集活動を行い実証実験を実施した。成果について成果報告会を開催するとともに報告書を配布し、今後も成果の普及に努める。

○活動指標(アウトプット)

初級・中級・上級の各レベルで8科目(120時間)のカリキュラムを作成(合計24科目=360時間)。シラバス、コマシラバス、評価指標作成等を行い、カリキュラムの見える化を推進した。(この時、再生可能エネルギーの様々な発電について調査を実施し、共通する点と異なる点を整理した上で、技術を習得できるようカリキュラムを作成した。)

上記のうち8科目(120時間)について、実証実験を実施した(初級レベル2科目、中級レベル4科目、上級レベル2科目)。

評価指標については、親委員会である「環境・エネルギー分野産学コンソーシアム」の成果も活用した。

○成果目標及び成果実績(アウトカム)

各実証実験には延べ108名が参加し、授業評価(受講後アンケートや他の教職員によるピアレビュー)を実施した。

学習サービスのキープロセスに沿って成果目標の設定から成果実績の評価までを行い、実施委員会にて評価した。

- ・ニーズ分析から、科目ごとの学習目標を設定し、シラバスおよびコマシラバスを作成した。
(ニーズ分析、設計)
- ・実証講座に対してその講座の担当者以外によるピアレビューを実施した。
(実施、モニタリング、評価)
- ・実証講座の受講者に対して行ったアンケート結果を集計し、分析した。
(モニタリング、評価)
- ・上記の情報に基づき、実施委員の方々に実証講座内容を評価していただいた。
(第三者の視点から評価)

(4) 事業終了後の方針について(継続性、発展性 等)

本事業で開発したカリキュラムならびに実証講座の成果の活用を図るため、中央工科デザイン専門学校で平成25年度に新設を予定しているテクニカルエンジニア学科電気エネルギーシステムコースにて、カリキュラムへの積極的な反映を試みる。

さらには、科目ユニット化の成果を活かし、社会人向けの短期講習会などの開催についても検討するなど、事業終了後も継続的に取り組む。特に、建築士や電気工事士、電気主任技術者等、既存の技術系検定を実施している団体に働きかけ、今回開発するカリキュラムを、各団体が行っているCPD(継続教育プログラム)として認定していただき、有資格者の能力向上にも役立てられるよう努めることで、事業の継続性と発展性を高める。

また、事業成果を積極的に広め、他の専門学校等でも同様のカリキュラムが実施されるよう努める。